



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社

コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画グループ (氏名) 大戸 章浩 TEL 084-923-5552

半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月3日

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	12,895	6.4	625	△18.4	730	△14.9	487	△23.4
2024年3月期中間期	12,114	8.9	765	20.5	858	10.9	636	23.7

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 579百万円 (△28.0%) 2024年3月期中間期 804百万円 (28.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	39.67	—
2024年3月期中間期	52.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	19,344	7,112	36.8	577.87
2024年3月期	18,928	6,630	35.0	539.66

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 7,112百万円 2024年3月期 6,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
2025年3月期	—	9.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	11.8	950	23.8	1,150	10.8	800	4.1	65.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P8. 「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	13,495,248株	2024年3月期	13,495,248株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	1,186,818株	2024年3月期	1,209,618株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	12,294,102株	2024年3月期中間期	12,242,765株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復傾向にあります。しかしながら、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

この環境下において、アシードグループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 ― すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて更新した「中期経営計画」に基づき、ブランド創造企業への挑戦、既存事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化を中心とした成長の加速に取り組んでいます。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高12,895百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益625百万円(同18.4%減)、経常利益730百万円(同14.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益487百万円(同23.4%減)となりました。

また、当中間連結会計期間より、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、「自販機運営リテイル事業」に含まれていたアシード株式会社の飲料ウェルネス事業の区分を、「飲料製造事業」へ変更しております。前年同期の数値については変更後の区分で組み替えた数値を記載しております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

(自販機運営リテイル事業)

自販機運営リテイル事業におきましては、運営台数と販売数量を追い求めるのではなく、拠点、自販機、人員ごとの生産性向上に舵を切り、商品の売価改定を適切に反映させるとともに、設置条件の適正化に取り組んでおります。売価改定により販売数量が伸び悩む中、M&Aにより新たな商圏を確保することで売上の維持・拡大に努めております。一方で消費者の求める利便性に応えるべく、新札対応のための機材の切替、キャッシュレス対応についても積極的に取り組んでおります。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は7,283百万円(前年同期比3.4%増)、セグメント利益は196百万円(同12.3%減)となりました。

(飲料製造事業)

飲料製造事業におきましては、原材料・資材・燃料費の値上がりに対応した価格改定に加え、設備更新や太陽光パネルの設置による電力費の削減等を行い収益性の改善を進めるとともに、10月1日付の事業再編に向け東西2工場の効率運用に向けた準備を進めました。

9月には基幹商品と位置付ける、缶チューハイシリーズ「アスター」の数量限定商品として、岩手県産山ぶどうのストレート果汁を使用した「アスター 岩手やまぶどうのチューハイ」を発売するなど自社商品のラインナップの新陳代謝を早め、全国展開を目指した商品力強化に注力しました。

静岡ローストシステム株式会社の茶葉加工が堅調に推移したことがセグメントの業績を押し上げた一方、酒類・飲料製造の2社については製造数量の伸び悩みと再編費用の先行により一時的に採算が悪化しました。

この結果、飲料製造事業の売上高は5,417百万円(前年同期比10.9%増)、セグメント利益は564百万円(同17.1%減)となりました。

(不動産運用事業)

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート株式会社を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は70百万円(前年同期比4.9%増)、セグメント利益は110百万円(同8.2%増)となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高115百万円を含めると185百万円となります。

(その他事業)

その他事業におきましては、ロジックイノベーション株式会社が東西の物流部門を強化すると共に、グループ内物流の内製化を進めており、その他事業による売上高は124百万円(前年同期比3.8%増)、セグメント利益は16百万円(前年同期は0百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産は19,344百万円となり、前連結会計年度末に比べ416百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加182百万円及び売掛金及び契約資産の増加80百万円等によるものです

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は12,232百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円減少いたしました。これは買掛金の増加315百万円及び長期借入金の減少342百万円等によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は7,112百万円となり、前連結会計年度末に比べ482百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する中間純利益による増加487百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は36.8% (前連結会計年度末は35.0%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日「2024年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,570	1,752
受取手形	13	41
売掛金及び契約資産	3,469	3,549
商品及び製品	957	981
原材料及び貯蔵品	292	293
前払費用	151	182
その他	609	597
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	7,062	7,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,546	2,544
機械装置及び運搬具 (純額)	2,699	2,575
工具、器具及び備品 (純額)	52	48
土地	3,821	3,823
リース資産 (純額)	334	316
建設仮勘定	66	265
有形固定資産合計	9,520	9,574
無形固定資産		
のれん	171	159
ソフトウェア	51	49
リース資産	21	15
その他	25	28
無形固定資産合計	270	252
投資その他の資産		
投資有価証券	1,430	1,537
長期前払費用	195	132
繰延税金資産	69	58
その他	423	436
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	2,075	2,120
固定資産合計	11,866	11,948
資産合計	18,928	19,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,795	3,111
短期借入金	2,330	2,780
1年内返済予定の長期借入金	1,281	1,003
リース債務	143	126
未払金	768	852
未払法人税等	234	202
未払消費税等	207	124
賞与引当金	180	199
その他	938	769
流動負債合計	8,880	9,169
固定負債		
長期借入金	2,757	2,415
リース債務	238	217
再評価に係る繰延税金負債	34	34
退職給付に係る負債	148	152
その他	238	242
固定負債合計	3,418	3,062
負債合計	12,298	12,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,034	1,036
利益剰余金	5,523	5,900
自己株式	△630	△618
株主資本合計	6,726	7,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	130
土地再評価差額金	△363	△363
為替換算調整勘定	133	228
その他の包括利益累計額合計	△96	△4
純資産合計	6,630	7,112
負債純資産合計	18,928	19,344

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	12,114	12,895
売上原価	7,300	8,042
売上総利益	4,813	4,853
販売費及び一般管理費	4,047	4,228
営業利益	765	625
営業外収益		
受取保険金	16	—
持分法による投資利益	58	80
その他	49	69
営業外収益合計	124	149
営業外費用		
支払利息	17	18
その他	14	25
営業外費用合計	31	43
経常利益	858	730
特別利益		
固定資産売却益	67	—
特別利益合計	67	—
特別損失		
固定資産除却損	—	43
特別損失合計	—	43
税金等調整前中間純利益	926	687
法人税、住民税及び事業税	305	194
法人税等調整額	△15	4
法人税等合計	289	199
中間純利益	636	487
親会社株主に帰属する中間純利益	636	487

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	636	487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	98	95
その他の包括利益合計	167	91
中間包括利益	804	579
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	804	579

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる当中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
販売交付金	1,563百万円	1,612百万円
販売促進費	125	100
賃借料	92	109
役員報酬	111	109
従業員給与	827	870
賞与引当金繰入額	118	137
退職給付費用	26	27
貸倒引当金繰入額	0	0
減価償却費	75	70

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,040	4,886	67	119	12,114	—	12,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	74	109	23	209	△209	—
計	7,042	4,961	176	143	12,324	△209	12,114
セグメント利益	223	681	101	0	1,007	△241	765

- (注) 1. セグメント利益の調整額△241百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,283	5,417	70	124	12,895	—	12,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	78	115	52	248	△248	—
計	7,285	5,496	185	176	13,144	△248	12,895
セグメント利益	196	564	110	16	888	△262	625

- (注) 1. セグメント利益の調整額△262百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年10月1日付の組織再編を踏まえ、当中間連結会計期間より「自販機運営リテイル事業」に含まれていたアシード株式会社の飲料ウェルネス事業の区分を、「飲料製造事業」へ変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法に基づき作成したものを記載しております。